



## 課題をみつめ 改善に取り組む

### ～ 全国学力・学習状況調査の結果から

2年ぶりとなった本年度の全国学力・学習状況調査は、全国の中学校3年生を対象に、5月27日(木)に実施されました。

この調査は、「教科に関する調査(国語・数学)」と「学習環境や生活の諸側面等に関する質問紙調査」の2種類からなっており、「教科に関する調査」は、「(ア)身につけておくべき知識・技能等」と「(イ)知識・技能等を活用・実践・評価等する力」に関する問題が一体的に出題されました。

そして、この調査結果を基に、本校生徒の学力や学習状況を分析・把握し、各教科における成果や課題、生活状況の実態等を明らかにすることで、今後の指導の改善に役立てることが目的です。

本校では、8月末に文部科学省より結果が送付されてきて以来、二葉祭や新人戦の取り組みと並行して、各教科担当を中心に分析を行ってきましたが、このたび分析結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。



今後、3年生はもとより全学年で授業や指導のあり方を見直して、具体的な取り組みを行っていきます。

### 学力調査の分析結果の概要

#### 1. 本校の状況

国語、数学の両教科とも、県及び全国の平均を上回っており、良い結果でした。特に、数学の得点は県、全国の平均を大きく上回っています。

しかし、各教科ごとに個々の分野や全体としての課題もあり、その克服に向けて、取組が必要です。

	国語	数学
山梨県	<b>66</b>	57
全 国	64.6	57.2

※山梨県の平均点は整数になっています  
太字は、山梨県が全国を上回っているもの

#### 2. 本校の主な課題

##### ■ 国語

- ▼ 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことに、課題が見られる。
- ▼ 事象や行為などを表す多様な語句について、理解が不十分である。
- ▼ 選択式の問題に正答率が低く、選択肢を比較し、問題と答えを結びつけることに、課題が見られる。

##### ■ 数学

- ▼ 図形領域において、扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について、理解が不十分なところがある。
- ▼ 数量関係領域において、与えられた表やグラフから必要な情報を適切に読み取る問題について、課題がある。
- ▼ 資料の活用領域において、ヒストグラムからある階級の度数を読み取ることが苦手である。また、相対度数の必要性と意味の理解が不十分なところがある。

#### 3. 教科における主な改善点

##### □ 国語

- 自分の考えを持ち、それを文章化する場面をより多く設定していく。
- 漢字や語句などの知識の定着をはかるために、小テストの形を用いて、繰り返し復習する場面を設けていく。その知識を活用する学習活動を計画する。
- 記述された内容を読み取る際に、さまざまな視点から吟味し、分析して読み取る力を身に着けるために文や文章を比較して読む活動を設定する。

##### □ 数学

- 図形の性質を考察する場面では、辺の長さや角の大きさなどの数量に着目し、それらの関係を的確に捉えることができるよう繰り返し指導を行う。
- 事象を理想化・単純化してその特徴を的確に捉え、事象を数学的に解釈することが求められる問題に取り組む機会を増やす。

- 表やデータなどから、データの傾向を適切に読み取り、それらを基に判断の理由を説明するため、グラフや適切な代表値も用いて説明する力を伸ばす指導を行う。
- 実生活に結びつけた問題が増加しているため、日常の授業においても数学的事象と日常場面との関連を意識付ける。
- 単純な計算ミスや勘違いを減らせるよう、落ち着いて問題に取り組む指導を継続して行う。

## 学習環境、生活の諸側面等状況調査(質問紙調査)の分析結果の概要

### 1. 本校の状況

今回の調査では、多くの項目で肯定的な回答が高い傾向にあり、質問項目のほとんどが国の平均を上回っていました。本校生徒のよさを改めて確認できました。

#### ■肯定的回答が非常に高い(80%以上)質問項目

- 朝食を毎日食べている
- いじめは、どんな理由があってもいけない
- 自分でやると決めたことはやり遂げる
- 人は困っているときは、進んで助けている
- 人の役に立つ人間になりたい
- 学校に行くのが楽しい
- 自分と違う意見について考えるのは楽しい
- 友達と協力するのは楽しい

#### ■【学習面】肯定的回答が非常に高い(80%以上)質問項目

- 学習の中でコンピュータなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つ
- 2年生の時に受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていた
- 1、2年生の時に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた
- 1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった考え方、教材、学習時間などになっていた
- 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができた
- 学習した内容について、分かった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができた
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる
- 国語の勉強は大切だと思う
- 国語の授業の内容はよくわかる
- 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ
- 数学の勉強は大切だと思う
- 数学の授業の内容はよくわかる
- 数学の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える
- 数学の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いている

### 2. 本校の主な課題

質問紙調査からうかがわれる課題については、次の2点が挙げられます。

#### (1) 活字離れが進んでいる

「新聞を、ほとんどまたは全く読まない」という回答が県及び全国平均を上回っています。また「読書時間が10分より少ないまたは全くしない」という回答が全国の平均を上回っています。PC 等のオンラインでニュースを見たり、読書をしたりすることがあるのかもしれませんが、この調査結果からは文章に触れる機会が減少していることがうかがえます。今後、ICT 機器の活用と平行して活字を読む機会をしっかりと確保していく必要があると考えています。

#### (2) 地域とのかかわりがやや希薄である

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」という質問に対して、多くの生徒が否定的な回答をしています。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、地域との交流機会が減少している状況がありますが、地域の物的・人的資源を活用しつつ連携を図り「社会に開かれた教育課程」の実現を目指していくことが新しい学習指導要領でも求められており、学校全体で取り組んでいきます。

## 学校としての今後の取組み

今後も全学年、授業を大切に、共に学び合う姿勢を培って行きたいと考えています。そのために、以下のことを意識し、改善を図ります。

- ① 今回の調査で課題の見られた領域や問題について、復習する機会を設けていきます。
- ② 家庭学習が重要です。自主学習ノートの取り組みを充実させるとともに、授業との関連を意識した課題を継続していきます。
- ③ 基礎的・基本的な学習内容について、各教科で小テストやドリル・学習プリントなどを活用し、基礎・基本の定着を図ります。
- ④ 授業の中で、学習を通して理解したことを基にしながら言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力の一層の向上を目指します。
- ⑤ コロナ禍の状況を鑑みながら、学び合いや話し合い活動などの場面設定を徐々に増やしていき、学習した内容を相互に関連付けてより深く考える機会をつくっていきます。また ICT 機器の効果的な活用を図り、個別最適な学び、協働的な学びの実現を目指します。